

月刊きょうと教育通信

vol. 5 平成15年1月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

幼稚園、小・中・養護学校で2期制，長期休業の弾力化へ

12月19日，学校管理運営規則を改正し，15年度から，幼稚園及び小・中・養護学校において，2期制の導入や夏休み等の長期休業期間の弾力化が実施できるようになりました。

特徴としては，

全校一律の実施ではなく，校園長の判断により，地域や保護者の理解を得て希望校で実施する

各学校の実態に応じて，学期や長期休業期間を独自に定めることができる（秋休みの設定も可能）

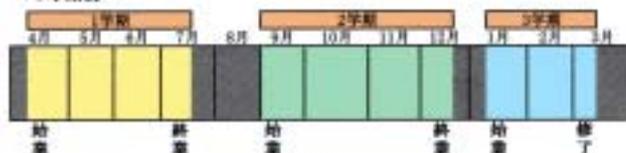
などが挙げられます。

2期制等の導入は，夏休みや冬休みの直前まで授業ができる，始業式・終業式が各1回減ることにより，より丁寧な学習指導や授業時間の確保が可能になる，などの利点があります。

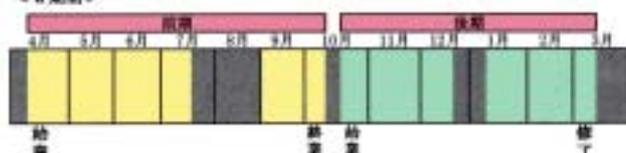
また，子どもたち一人一人に応じた指導や繰り返し指導，子どもたちの興味・関心などを大切に学習，実

*年間日程例

<3学期制>



<2学期制>

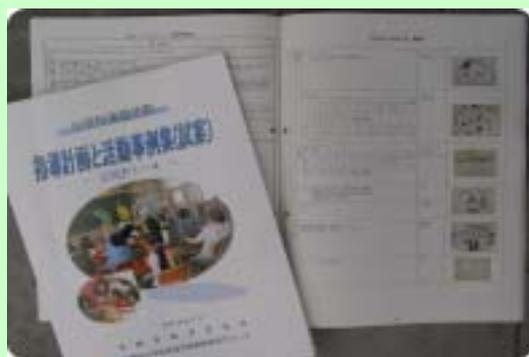


■は長期休業を示す。

生活と結びついた体験的・問題解決的な学習を展開しやすくするなど，各校において，子どもたちや地域の実態に立った教育活動を展開し，特色ある学校づくりを進めるための取組の一つとして行うものです。

ご意見・お問合せ＝学校指導課（222-3806），教育計画課（222-3815）

都道府県・政令指定都市初 小学校英語指導計画等を作成



このたび，小学生が英語に慣れ親しみ，英語でのコミュニケーションを積極的に行う態度を育成することを目的として，小学校英語活動「指導計画と活動事例集（試案）」を作成しました。

これは，英語教育外国語指導員の活用や地域在住の外国人・海外在住経験者の協力により，小学校全校での英語活動を行っている京都市の先進的な取組をさらに推進するもので，教育委員会が独自にこのような指導計画を策定するのは都道府県・政令指定都市で初めての試みです。

また，この指導計画等の作成に関わった研究グループの教員等による「小学校英語活動研究会」が発足。研究の充実と教員の資質向上を図ります。

ご意見・お問合せ＝学校指導課（222-3808）

<1月の主な予定>

- 5日～2月11日 企画展「京都の学校～二部（夜間）学級の歩み～」（学校歴史博物館，水曜休館）
- 8日（水） 御所南小「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究」第2回運営委員会
- 8～13日 京都市立幼稚園こども展（こどもみらい館，園児の絵画や造形作品の展示等，無料）
- 10日（金） 第11回道徳教育振興市民会議
- 12日（日） 京都市少年合唱団修了演奏会（午後1時30分開演，京都会館，入場整理券＜無料，区役所・支所・市立図書館等で配付中＞が必要）
- 13日（祝） 平成15年度成人の日記念式典
- 15日（水） 成人の日を支えてくれた若人の成人式
- 24～26日 銅駝美術工芸高校作品展（京都市美術館，日本画・洋画・彫刻等の作品を展示，無料）
- 27日（月） 第4回子ども読書活動振興市民会議
- 30日～2月2日 小さな巨匠展（京都市美術館別館，市立学校に通う障害のある子どもの絵画・書道等を展示，無料）
- 31日（金） アラン・ケイプロジェクト ワークショップ

注目

学校広報紙展示会（1月23日～2月14日）

「開かれた学校づくり」の取組として，学校の教育活動や子どもたちの様子などを広く発信するため，学校広報紙展示会を開催します。会場：市役所正面玄関，地下鉄三条京阪駅，四条地下通路，ジャスコ洛南店，近鉄百貨店momom（以上1月23日～2月6日），カナート洛北（2月3日～14日）

日本初 市民が優秀教員を選考 「第1回教育実践功績表彰」

京都市では、このたび「教育実践功績表彰」を創設しました。

これは、昭和60年度から実施してきた「教育推進者表彰」を、さらに発展充実させ、学校教育活動のあらゆる分野を視野に入れ、年齢、経験年数、校務分掌等にとらわれず、熱意ある取組で本市教育を支える、若手からベテランまでの教員を幅広く称えるものです。

今年度は、優秀教員の選考のため、全国に先駆け、市民・保護者が参画する教育実践功績表彰選考委員会議（委員長：堀場厚 人づくり21世紀委員会顧問）を設け、その答申を経て546名を選出。12月20日、永松記念教育センターで「第1回教育実践功績表彰式典」を挙行了しました。



当日は、表彰状・記念品贈呈に続いて、門川大作教育長からのあいさつ、田中規夫京都市小学校長会会長、堀場厚選考委員会議委員長からの祝辞等につき、表彰された教員を代表して西陣中央小学校の村井千種教諭が、「子どもたちの『生きる力』の育成と、『心の教育』の充実に向けて、これまで以上に教育活動に邁進したい」と述べました。

ご意見・お問合せ＝教職員課（222-3779）

人づくり21世紀委員会が多彩な取組を展開



本年度設立5周年を迎えた「人づくり21世紀委員会」では、「子どもたちの未来が光り輝くために、大人として何をしなければならぬか」を考える行政区別の「交流会」や地域に根差した「井戸端会議」のほか、とりわけ本年度から、世代を超えた交流を目指し、「ふれあいリレーマラソン」や「遊びの見本市」の開催など、行政区単位で様々な取組を展開しています。

こうした取組は、行政区毎に組織されている「人づくり」ネットワーク実行委員会の260名を超える委員の皆さんにより企画運営されています。

地域に根差した「人づくりの輪」が、昨年度にも増して大きく広がっています。

ご意見・お問合せ＝地域教育専門主事室（254-5007）

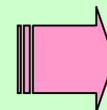
なんばあわん

総合制・地域制養護学校の建設・再編（日本初）

京都市では、上京区の元成逸小学校跡地に新たな養護学校を建設しており、平成16年4月の開校とともに、既設の3校を含めた市立養護学校4校を、日本で初めての総合制・地域制養護学校に再編します。

現在の養護学校
（6校）

呉竹[肢体不自由]
東[発達遅滞]
西[発達遅滞]
白河[発達遅滞]
桃陽[病弱]
鳴滝[病弱]



16年度の養護学校
（7校）

呉竹[総合制・地域制]
東[総合制・地域制]
西[総合制・地域制]
新設[総合制・地域制]
白河[総合制(高等部職業学科)]
桃陽[病弱]
鳴滝[病弱, 総合制(高等部職業学科)]

これは、子どもたちの障害が重度・重複化、多様化するなかで、障害種別（肢体不自由・発達遅滞）の枠を取り払い、一人一人の発達・障害等の状態をより総合的にとらえたきめ細かな指導を行うために実施。あわせて、市内を4通学区に再編することにより、学校・家庭・地域の結び付きを一層深めるとともに、通学時間の短縮を図るものです。

現在、再編に向けて各校で、子ども一人一人のニーズに応える個別の指導計画、柔軟な学習グループ編成等、多様な教育課程の研究を行っています。

また、既設3校（呉竹・東・西）についても、作業学習棟やエアコン・車いす対応トイレの設置等のリニューアルを実施していきます。

ご意見・お問合せ＝養護育成課（352-2285）